

85 (黄⑱) 夜もすがら 物思ふころは 明けやらで ねやの隙さへ つれなかりけり 俊恵法師

意味：一晩中連れなない恋人を思っている頃は、夜もなかなか開けないで、朝の光がいつまでも差し込んでこない寝室の戸の隙間までがうらめしい。

1 つれなかりけり ねやのひまさへ あけやらで ものおもふころは よもすがら	2 よ も あ ね つ	3 よもすがら ものおもふころは あけやらで ねやのひまさへ つれなかりけり 朝・昼・夜のどの時間帯ですか。
読みます。	読みます。	この歌は、朝・昼・夜のどの時間帯を指しているでしょう。一つに手を上げます。
4 つれなかりけり ねやのひまさへ あけやらで ものおもふころは 夜もすがら 朝・昼・夜のどの時間帯ですか。	5 つれなかりけり ねやのひまさへ あけやらで ものおもふころは 夜もすがら 漢字に直しましょう。	6 つれなかりけり ねやのひまさへ 明けやらで 物思ふ頃は 夜もすがら 漢字に直しましょう。
「よもすがら」の「よ」とは、夜のことです。「よもすがら」とは、一晩中という意味があります。	赤い字の部分があります。漢字に直せるところを漢字にしましょう。	このようになります。「物思ふ」とは「思い悩む」、「明けやらで」とは、「夜が明けない」という意味です。
7 つれなかりけり ねやのひまさへ 明けやらで 物思ふ頃は 夜もすがら 何で思い悩んでいるのでしょうか。	8 つれなかりけり ねやのひまさへ 明けやらで 物思ふ頃は 夜もすがら 何で思い悩んでいるのでしょうか。 ①恋人 ②家族 ③世の中の無常さ	9 つれなかりけり ねやのひまさへ 明けやらで 物思ふ頃は 夜もすがら 何で思い悩んでいるのでしょうか。 ①恋人 ②家族 ③世の中の無常さ
何のことで思い悩んでいるのでしょうか。	次の中から選びます。	正解は、恋人ですね。

10 	11 	12 
この時代の恋人たちの過ごし方ですが、夜、男性が女性の家を訪れて、会いに来ていたんですね。でも、女性からしたら来てくれる日もあれば来てくれない日もある。	皆さんが平安時代の女性だったら、来るか来ないかわからない恋人を待ち続けますか？（理由も聞くとよい）	この女性も、待つ・待たないの間に心が揺れ動いていたのでしょうね。こんなもどかしさを感じていた時ほど夜明けが来ない。「寢屋のひま」とは、寢室の入り口のすき間ということですが、なかなか朝日が差し込んでこないその隙間さえ冷たく見えるという歌です。
13	14	15
16	17	18